

## 不登校対応巡回教員及びステップサポーター（SS）の活用について

### <目的>

- ・関係機関などにつながりがないなどの生徒への対応
- ・学校自体に足を向けることが難しい生徒も学校とつながりをもてるようにする
- ・連絡が取れない生徒の生存確認ができるようにする

### <対応人材>

#### ①不登校対応巡回教員（水曜日出勤【8：15～16：45】）

- ・上記の生徒の家庭訪問や生存確認（単独可）

#### ②ステップサポーター（SS）（令和6年度担当 火曜日、水曜日出勤【9：00～13：00】）

- ・上記生徒の登校支援（家にむかえに行って学校へ行く）
- ・登校支援がない場合は、エンカレッジルームでの勤務とする

### <活用方法>

#### ① 学年内で対応が必要な生徒を確認し、学年の不登校特別支援委員会担当に伝える

#### ② 不登校特別支援委員会で支援内容を確認し、活用が必要かどうか確認する

（令和6年度：毎週水曜日開催）

#### ③ 委員会で了承がとれたら、担任から「不登校巡回教員」や「SS」について説明し、了承を得る。

例：・登校の支援ができれば、学校（や別室）に入れるようなら、〇〇先生という方が行って、登校を手伝ってくれます。一度挑戦してみませんか

・なかなか連絡がとれず心配なので、今週も会えないようなら、水曜日の日中に〇〇という担当教員が会いに行きます

・登校が難しいようなら、書類だけでも渡しに行きます。少し顔を見られれば安心するので

〇〇という教員が行きますので、お願いします

#### ④ 保護者に連絡がとれたら活用開始とする

#### ⑤ 【不登校対応巡回教員】不登校特別支援委員会の前までに（令和6年度：毎週水曜日3時間目）お願いしたい内容をメモし、学年の不登校特別支援委員会の教員または不登校対応巡回教員に渡す。

#### ⑥ 【SS】SSのボックスにお願いしたい内容をメモし入れておく。初回の依頼時は、直接話をしに行く。

#### ⑦ 対応人数が多かったり精査が必要な場合は、委員会で検討し、優先順位を決めて実施する

#### ⑧ 不登校対応巡回教員およびSSは終了後、メモを担任に返し、不登校対応巡回教員は不登校特別支援委員会で、SSはSSの記録で内容を報告する

#### ⑨ 適宜、活用方法について委員会で確認し修正をしていく

\* SSW：勤務内容は似ているが、単独で活動ができ、社会資源などへつなぐ役目もある